



No.3
2007.8.20

編集・発行

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会
笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp
U R L http://www.kasama-syakyo.jp/

かさま 社協だより



クッキーの形になってきた!!
(クッキーづくり)



上手にまぜられるね



もう少しでお花完成!(キルトではなづくり)

夏休み  
わくわく体験教室
笠間支所より 
(この事業は共同募金の配分金で実施しております。)

も く じ

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ① 平成18年度 市社協事業および決算報告・・・ 2～3 | ④ みんなの広場・・・ 8～9 |
| ② ボランティア交流会・・・・・・・・・・・・ 4～5 | ⑤ お知らせ・・・・・・ 10 |
| ③ 支所だより・・・・・・・・・・・・ 6～7 | |

および 決算報告

社協会員の皆さまには、市社協事業に、ご理解とご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。
行政の合併に伴い三社協が昨年7月合併しました。合併に至る準備期間が十分でありませんでしたでしたが、皆様のご協力とご理解により事業が進みましたことを、心よりお礼申し上げます。

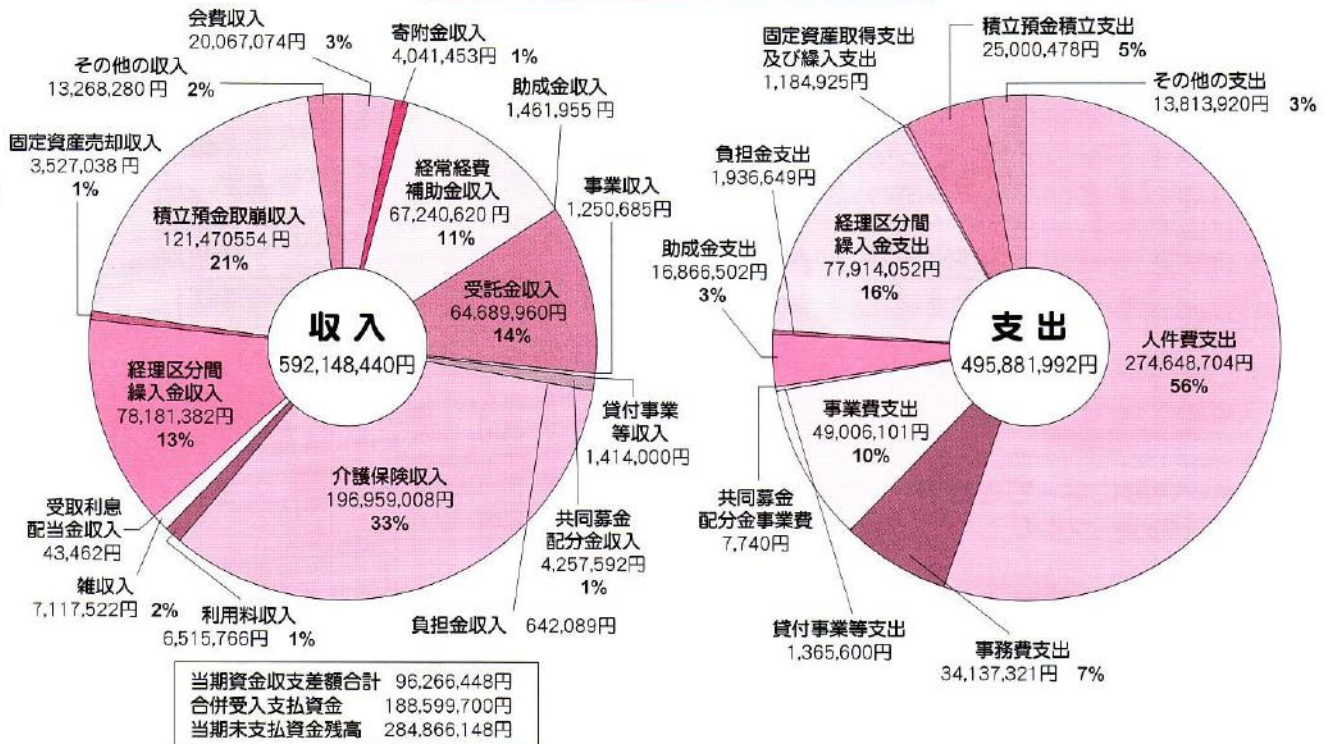


笠間市社会福祉協議会
会長 海老原 元彦

会長あいさつ

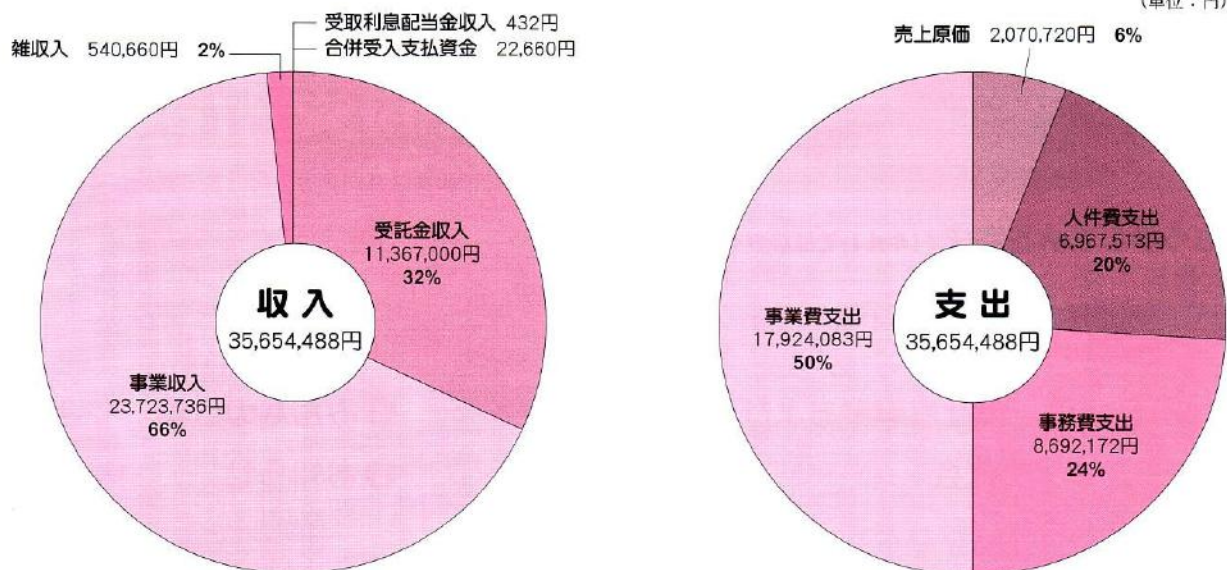
一般会計資金収支決算

(単位：円)



平成18年度 いこいの家「はなさか」特別会計資金収支決算書

(単位：円)



法人運営事業

- 理事会、評議員会、監事会、部会、委員会の開催
- 会員会費、共同募金の募集
- 広報活動（かさま社協だより）
- 児童福祉、高齢者福祉、（団体助成、他事業での実施）
- 低所得者福祉（資金貸付）
- 心配ごと相談所の運営（相談件数 167 件）
- 法律相談（92 件）

児童・生徒のボランティア普及事業の推進

- 事業協力校への助成（5 園、22 校）
- 福祉体験学習の指導・協力
（11 校、966 人参加、ボランティア 117 人協力）

善意銀行

- 預託金 4,041,453 円 110 件
- 物品預託 128 件
- 福祉機器の貸出（415 件）

笠間市委託事業

- 小規模福祉作業所「ニコニコハウス」の運営
訓練日数 176 日 訓練生 13 人
訓練科目 生活・作業・行事訓練
- 地域ケアシステム推進事業
在宅ケアチーム数（452 チーム）
近隣ケアチーム員数（1,257 人）
サービス調整会議の開催
権利擁護事業の推進（利用者 15 人）
在宅介護者の会活動
- 親子通園事業
登録児数 23 人 開催回数 180 回
- 家族介護教室（3 級ヘルパー養成講座）
13 日間 受講生 31 人
- 互助型在宅福祉サービス
協力会員 187 人
利用会員 364 人
賛助会員 66 人 1 団体
利用時間 14,634 時間
- 軽度援助事業
利用者 16 人
利用時間 893 時間
- 高齢者いきいき活動支援通所事業
利用延べ人数 9,328 人
主なサービス 送迎、健康チェック、入浴、食事、
レクリエーション活動



平成18年度

市社協事業

ボランティアセンター事業

- 運営会議、代表者会議、委員会の開催
- ボランティア活動育成のための学習会の開催
- 児童・生徒の福祉講座の開催
（中・高生福祉体験学習（ワークキャンプ）の開催）
34 人参加
- 各種教室・講座の開催（718 人参加）
- ボランティアサークルの育成（74 サークル）

笠間市指定管理業務

- 地域福祉センター
利用者 34,922 人 857 団体
- いこいの家はなさか
開館日数 211 日 入館者 56,884 人
- 福祉センターいわま
一般開放日（毎週木曜日）36 日 利用者 270 人
- 心身障害者福祉センター「たけのこ」運営
訓練日数 240 日 訓練生 22 人
訓練科目 生活・作業・行事訓練
- 福祉センターあおぞら
訓練日数 231 日 訓練生 10 人
訓練科目 生活・作業・行事訓練



介護保険事業

- 訪問介護サービス 利用者 332 人
- 訪問入浴サービス 利用者 58 人
- 訪問介護員の人数 102 人
- 通所介護事業（デイサービス）利用者 1,194 人
- 居宅介護支援事業 登録者 435 人 利用者 329 人
ケアマネージャーの人数 10 人
- 自立支援居宅介護 利用者 30 人
- 在宅重度身体障害者訪問入浴 利用者 1 人

ボランティア 交 流 会

ボランティア活動を楽しく そして仲間を増やすには

笠間市ボランティア連絡協議会主催

去る6月18日市内橋爪の「い
こいの家はなさか」で、3支所の
ボランティアサークル74団体150
人が一堂に会した第1回交流会が
開催されました。

坂野ボランティア連絡協議会会
長の「サークル相互に連携を保ち、
交流をより一層深めたい」との挨拶
に引き続き、参加者は、

- ① 食事サービス活動
- ② 施設活動
- ③ 傾聴・ふれあい電話活動
- ④ 朗読・読み聞かせ活動
- ⑤ 手話活動
- ⑥ 点字活動
- ⑦ 児童関係活動
- ⑧ ものづくり活動
- ⑨ その他の活動

(映像・演奏・リハビリ体操他)
の9グループに分散して、それぞ
れの活動紹介や、抱える問題等の
話し合い、ボランティア活動を楽
しみながら継続性を維持すること、
ボランティア活動に参加する仲間
を増やすための取り組み等につい
ての意見交換が行われました。

楽しく活動する ための心がまえ

楽しみについて、
各サークルの分散
会、全体会から、ボ
ランティアの方の活
動の心構えなど感じ
方、見方がサークル
によって異りがある
ことがわかりました。
広報としては、グ

ループ内での皆さんのご意見、
全体会における、まとめ役の方
のご意見を統合して、次の事項
をサークルの結論とさせていた
だきました。

● 食事サービスサークル

食事作りの皆さんから、多く
の事を学んだ。利用者から感
謝の言葉に生きがいを得た。

● 施設活動サークル

活動にはゆとりをもち、サー
クル員の意見が反映出来るよう
な雰囲気作りを大切にします。

● 傾聴・ふれあい電話サークル

心をいかに伝えるか、聞くこ
とによって相手に希望を湧かせ

る、聞き上手になること。

● 朗読・よみ聞かせサークル

サークル内の融和を図り、自
己研さんにも努め、丁寧に伝え
る。

● 手話活動サークル

手話が通じ合った時の感動と
豊かな表情による表現ができた
時のよろこび。

● 点字活動サークル

地味な活動の中から完成時の
よろこび、家族・本人が健康で
あること。

● 児童関係活動サークル

自分の負担にならないよう家
族にも負担をかけない。

● ものづくり活動サークル

個性を出しすぎないこと、相
手をみとめること、おしゃべり
だけでも可、発表会などもやつ
てみる。

● その他・自由サークル

自分が成長していくこと。以



上9サークルの
楽しみの
心がまえ
としての
受けとめ
方であり
ますが、
受動的・

他動的そこから出てくる気持ち
が、活動への大きな楽しみ、励
みとなっており、その状況が意
見として表現されておりました。

仲間を増やすには

ボランティア活動

をする仲間が一人で
も増えるようにする
ための取組みをテー
マに話し合いがなさ
れました。9つの分
散会ごとに、「会員
が増えない」「若い
人たちが入ってこな
い」「先細り・不安・危機感
がある」などの悩みがだされま
した。その悩みを打破するため、
活発な討議がなされました。そ
の内容を項目ごとに分けて紹介
します。

● 知らせるためには

- ・機会あるごとに口コミで呼び
かけるようにする。
- ・ボランティア活動の楽しさを
多くの方に伝える。
- ・ポスター等で活動内容を紹介
し、参加の働きかけをする。
- ・幅広い人材を集めるために、
ホームページを活用しPRす
る。
- ・定期的に講習会を開き、仲間
作りを支援する。



・小中学
校等で行
う「親子
体験学習
等」を通
し理解し
てもらう。
・ボラン
ティア活
動の様子をビデオに録画し、映
像で訴える。

● 参加する意欲を高めるには

- ・体験ボランティアの機会を作
り、手伝う中で気持ちを高める
ようにする。
- ・市内に移住してこれた人が
地域になじむため参加を促す。
- ・第二の人生をボランティア活
動に見い出すよう配慮する。
- ・友達作りをするきっかけにな
るよう働きかける。

● 継続してやっていただくには

- ・活動した後の充実感を味わえ
るようにする。
- ・ボランティア活動をするのは
自分自身のためであることに気
づく。
- ・ボランティア活動の拠点とな
る施設の充実・確保に努める。
- ・辞めることは好ましくないが
代わりの人をさがす気持ちを持
つようにする。

笠間市社協ボランティアサークル一覧

区 分	サークル数	登録人数
障害者関係	15	192
高齢者関係	30	678
福祉施設関係	6	104
幼児・児童・生徒関係	7	120
レクリエーション関係	4	93
物作り関係	3	40
災害・救援関係	1	48
海外支援関係	1	17
広報協力	1	5
技能・技術の提供	6	41
合 計	74	1,338

自分に合ったサークルを 見つけて、ボランティア活動を 始めませんか。

お問い合わせ先

● 笠間市社協 本所・友部支所 0296-78-2626
(ボランティアセンター)

● “ 笠 間 支 所 0296-73-0084

● “ 岩 間 支 所 0299-45-7889

参加者の声



大町 中川 美子

過日の交流会では、私の日頃の活動の中で朗読・読み聞かせの分野がかなり多く、この機会に他の方がたの活動の様子を知り、少しでも勉強になればとの思いで、読み聞かせを選びました。

自己紹介や活動状況等を発表

し合い、すぐに和やかな雰囲気
が生まれたのはさすが同じ目的
をもつ者同士と感じ入りました。

視覚障害者への「声のおたより」作りや、福祉施設への訪問等を通して、それぞれの持つ悩みや苦労、多くの喜びなど、話は尽きませんでした。今後の課題には高齢化の問題、意識高揚のための施策なども取り上げられました。

これからの社会はますます助け合いが求められます。今回の情報交換を生かし、今後それぞれの分野で楽しく活動ができればとの思いを深めた交流会でした。



若狭山同地 菊池 寿代

もしも私がボランティアをしていなかったら、今頃どんな暮らしをしているのだろうか。今の私には想像すらできないのですがそれでも小さなキッカケさえあればきっとやっていったことでしょう。

小学校2・3年生の頃「フランダース犬」や「マツチ売りの少女」「レ・ミゼラブル」など社会の底で貧しさに必死に耐えながら健気に生きる物語りを読みました。こんなに善い人たちがなにもどうしてこんなにかわいそうなの?と思いました。そして主人公たちはどんなに頑張っても金銭には恵まれませんでした。

でもそれらの物語の中にはほのかな温かい何かが描かれていて、それがもどかしく思う私の心を、どこかで少し埋め合わせてくれているようでした。

転じて今は、誰もが豊かになりました。でも人は何によって心を満たされるのか、それはやはり人と人との心の結びつきにあるのでしょうか。忙しい毎日

すが、この心を満たした私は自分の時間を割いて、今日も社協に出かけます。



押辺 橘 さと江

「ボランティア活動を楽しく、そして仲間を増やすには」をテーマとして、はじめての交流会が、もたれました。

それぞれの地域で、多くの方がたが、地道にボランティア活動をつづけておいで、活動の幅広さ奥深さは、さまざまで、それぞれの活動の話題が活発に出来ました。

忙しい仕事や、高齢世帯の増加、地域につながりを求めようとしない人が増えていることも、背景にあるのでしょうか、ちよつとだけ参加してくださっ

てすぐに、やめてしまおう方が多いのがなやみとか。

地区ごとに差はあるものの、なやみは、同じようでした。

「傾聴ボランティア」私には、耳新しいボランティアのかたちでした。それぞれのところに行つて相手の話をきく、こんな大切なボランティアがあつたんですね。話を聴くことで地域へのつながりができ、不安が安心になる。ボランティアのかたちも成長していくのですね。

参加者それぞれには、ボランティアに対する熱い思いが伝わり、大きな刺激になったのではないのでしょうか。

今回は限られた人数の交流会開催となりましたが、これを機に今後はより多くのボランティアに参加を促して開催することにより、ボランティアへの意識もより一層高まり、仲間意識も強まるものと思います。

ボランティアサークルに属していない方がたにも「身近なことから、出来ることから」をモットーに参加していただけるよう、内容の充実を図り、魅力溢れる活動を展開していきたいものです。

(山田・金井・久保田・強口・村尾・入江・関・平本・鶴田・小野・皆塚・吹野)

だより

心強く楽しい

笠間・岩間・友部の3地区が昨年3月合併し、はや1年が経過しました。

合併によって、福祉行政だけでなく様々なところで合理化を推進する一方、今はまだ試行錯誤しつつ各地域の特徴に合わせた、きめ細やかな行政サービスを作る基礎の時期でもあると思います。

笠間支所

デイサービスの一日



ビデオを見ながら心身機能の向上

笠間市社協笠間支所の館内で行われているデイサービス事業について紹介します。

「デイサービス」は、介護保険の要介護認定の結果「要支援」と「要介護」と認定された方が対象となります。そのサービスの内容は送迎・健康チェック・入浴・給食・生活指導・レクリエーションのメニューが用意されています。それによって利用者の心身機能の維持向上、寝たきりの予防、閉じこもり予防、それにより家族の身体的、精神的負担を軽減することを目的としています。



今から楽しいレクリエーション

サービスの流れと楽しい一日の様子を紹介してみよう。

送迎のバスで17人（男7人、女10人）が到着し施設内でまず血圧・体温・脈拍のチェックを受けます。その後入浴へ向かう人、カラオケのマイクを握る人、またこの時期は7月の七夕飾りをつくる人や別なテーブルでジグソーパズルに興じる人になりました。お昼時には塩分控え目の昼食。じゃが芋の炒め煮や鰯の蒲焼等家庭的な手作り料理が出ます。午後2時までは休憩でのんびり7、8人がベッドや和室で寝息を立ててい



宍戸小体育館でのバザー風景

友部支所には、6地区の支部社協があり、宍戸小学区内にあつて、唯一支部会館をもっている社協宍戸支部があります。

宍戸支部が発足して29年。約200人のボランティアが、青少年健全育成委員会・女性部・こぶしの会・広報委員会などで

友部支所

社協宍戸支部

心ひとつに女性部活動

ました。デイサービスは、毎日利用する人から週1回の人までさまざまで、利用料は介護保険の認定度によって違いますが、1回利用の平均は1,300円位とのことです。

午後2時からレクリエーションでビデオをみんなで半円形に囲みます。首、肩、腕、腰

足、指の順にスタッフの指導で体をほぐし仲良く輪ができました。今日のおやつ時間はデザートを皆で作って舌鼓を打って満足の表情を浮かべていました。そして午後4時に送迎のバスで満たされた笑顔で自宅に向かいました。

（海老沢）

事業を実施し、活動しています。

今回は、さまざまな事業に参加し協力している女性部の活動を紹介いたします。

女性部は（平成14年改称）宍戸支部婦人部として平成3年に創設し、現在部員数123人。主な活動は、配食サービス・宍戸苑の散歩ボランティア・手作り会・福祉バザーなどで、皆心をひとつにして活動が続けています。

配食では、一人暮らしの高齢者を対象に毎月1回実施。旬の食材や栄養面・色どりなどを考えた献立を立て、手ぎわよく作られたお弁当は、支部役員やこぶしの会の人たちによって各

支所

仲間がいれば



祉協議会がいま最も推し進めるべきことは、それぞれの支所が展開していたサービスの良い点をすすめ啓発することが、さらに地域に身近な存在として社協が位置づくことでしょう。

そのためにも本欄では、引き続き各支所での特色ある福祉活動を紹介していきたいと思ひます。

岩間支所

「わいきの会サロン」

健康体操でしゃべって笑って…

下郷大網区の女性10人が、地区公民館で、おしゃべり場として茶会を設けて6か月この4月会を結成、社協の本年度事業に申請されて認可されました。

シルバー体操を主体として楽しくおしゃべりお茶のみ会を紹介しします。

毎月第3金曜日に行っており訪ねました。午前10時参加者7人、指導員の秋山厚子先生、大川侑希子先生が体操の準備をされていた。社協広報紙の取材に来たことを話しますと、



梅干しづくりの話しに熱中する会員



肩こりを防ぐ、腕まわし運動

快く許可していただきみなさんと一緒にこのことを入れていただきました。

はじめの前はこの会を作られたことを代表の白山カツ子さんにお伺いしました。「年齢が大きくなると体のあちら、こちらの痛みが出たり、体力の衰えを感じ、地区内で軽い体操や、おしゃべり場として公民館で出来ないだろうか」と、たまたま秋山先生とお話ししたところ、「皆さんが賛同されるならやってみませんか」とのことので始めたそうです。地区の女性の10人の

家庭へと配られています。

おいしいお弁当を届けることと同時に、高齢者の方々とのおいも大事な役目。毎年1月高齢者を招き「新年お楽しみ会」を開いて交流を深めています。

福祉バザーは、穴戸支部にとつても大切な行事のひとつです。収益金を得るだけでなく、バザーを通して地域の皆さんに社協活動を理解していただくことも重要な目的なのです。

この行事は、穴戸小学校の運動会の日で体育館がバザー会場。小学校の理解ある対応や行政区の区長・支部役員・こぶしの会の人たちの温かい応援に感謝し、毎年大盛況に行われています。

手作り会では、年度の前半をバザーに出品する品々を作成。アイデアを持ち寄って帽子や

方もやつてみようよと協力してくれました。体操は高齢の方でも出来る、リズム運動、座つて行う足腰の体操、肩ほぐしの体操や誤飲防止のための発声法などです。50分程で休憩、お茶をいただきながらのおしゃべり、これが楽しい、体操のこと、料理の話、2時間半が、とても短く感じました。

エプロン・ベストなどを作り支部の収益に。バザーが終ると「新年お楽しみ会」の高齢者へのプレゼントを作成しています。

このほかに散歩ボランティア毎月一回グラウンドゴルフの記録員など、支部の年間行事に出席。「まちづくり穴戸塾」への参加や視野を広げるための視察研修を継続しています。(関)



わきあいあいと手作りメンバー

共同募金や社協会員会費などがこのような事業に使われていることもわかりました。「これから介護のお世話にならないよう、サロンを楽しみ、健康で過ごすよう心がけ、人生がより充実され、地域づくりに少しでもお役にたつていきたいですね」と話してくれました。

(山田)

私のじいちゃん

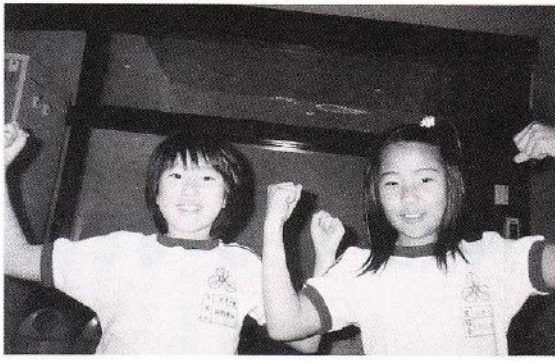
下市毛 荻野 采加(12歳)



私のじいちゃん
さんは、65
歳です。

ダンブの仕事
をしています。草取りや魚の
世話もします。

じいちゃんの得意なことは、
水道の修理、風呂場の修理など
をやります。たまには、こわし
たりしますが、こわれたものを
なおすのは、絶対にじいちゃん
と決まっています。
ほとんど、なんでもなおして
しまうのです。すごいと思います。



じいちゃんは家族ですが、大
大、大親友です。
じいちゃんが歩けなくなった
ら、お世話をしたいです。

ずっと、ずっと、仲良しでい
たいので元気モリモリで長生き
してください。

じいちゃん

＊電気製品が故障したとき、皆
が困っていたので、道具を取り
出しあつというまに直してしま
った。

＊学校でボールスロー大会があ
ると言えば、キャッチボールの
相手してくれる。

＊話を良く聞いてくれる。など
親友でもある。



自然とのふれ合いを求めて

吉岡 飯岡 一儀



去る6月
10日(日)、
愛宕山で行わ
れたJRの「駅

からハイキング」で道案内をし
ていた時のこと。山を上り下り
する方々から「山道の手入れが
行き届いて、歩きやすいですね」

「見晴らしが良く、自然を満喫
できたよ!」「気持ちいい山だ
ね、来年もきますよ!」など、

おほめの言葉を頂き、なぜか自
分の山のような思いが込みあげ
てきたのを覚えています。

紹介が遅れましたが、私たち
は愛宕山と周辺の山並みの自然
環境の向上を目的とした、森林
ボランティア「あたご四季の会」
です。

平成13年に設立して以来、
登山道、遊歩道の草刈りや補修
に始まり、今では森林の枝打ち
間伐までこなすようになってい
ます。また、愛宕山に係わる広
報支援として「駅からハイキン
グ」や「桜まつり」に参加させ
て頂いています。その他、キキ
ヨウ・オミナエシなど野草の植
栽、キノコの栽培も楽しい活動
の一貫としています。

活動の頻度は月2回、時間
は3時間、会員数は30人で、
うち女性は7人です。また、
活動の記録として会報を年2
回発行しています。

作業は、ハシゴを掛けての高
木の枝打ち、間伐、刈払い機に
よる草刈り・除草の整理とハー
ドですが、いざ森に入ると『一

心不乱』と表現したいように
作業に熱中しています。この時
間帯は誰もが喧騒な下界を忘れ
られる一時と受け止めているか
らでしょう。また、作業の後の
汗の中にある顔は、さわやかで
満足感が込み上げています。



私たちは高齢者集団ですが、
お互いが会を通して生きがい
を見出し、自分の人生を豊かに
する大切な時間と思っています。
愛宕山は初夏のさわやかな風、
秋の紅葉・静寂感、冬の展望、
そして春の桜と四季それぞれに
趣があります。

ぜひ愛宕山に来てください。



健康人

老いてもまだ
実年なり



大田町
鈴木 包弥さん

今回は「友部シニアソフトクラブ」の会長として活躍されている鈴木包弥さん（72歳）を紹介します。

「友部シニアソフトクラブ」は平成13年6月に発足し、早いもので7年目になります。

シニアとは59歳以上をいい、クラブ員は、現在33人のソフトボール大好き人間で成り立っています。平均年齢は65歳ぐらいです。

鈴木さんは、発足以来会長を務めており、クラブ員をまとめるとともに、プレーヤーとしても試合に出てがんばっています。練習は、毎週水曜日と土曜日の2回、午前8時30分から2時間半ぐらい行っています。練習場は、主に市営柿橋グラウンドを使ってやっています。

鈴木さんは、会長として監督と協力し、キャプテン・会計係連絡員などと連携を密にしなが



シニアソフト真壁大会にて

ら、会の運営にあたっています。練習ばかりでなく、ここ数年は技能が少しずつ向上し、近隣の大会にも出場するようになりました。4月には「真壁大会」5月には「小美玉大会」、6月には「友部近郊市町村親善大会」7月には「足利大会（65歳以上）」に参加し、腕をみがいています。

戦績は、もう一歩で勝つ試合が多く、くやしい思いをしています。要は、けがをしないように気をつけ、楽しい中で汗を流し、健康づくりに努めています。7月に行われた「足利大会」は、関東近県から約30チームが参加し、2日間にわたって、足利工大グラウンドで熱戦が展開されました。むし熱い中での大会でしたが、他チームとの交流も図れて、思い出に残りました。鈴木さんは「これからも体の動くうちはシニアソフトを続けていくので、若いシニアの入会を心待ちにしています」と話していました。



ひとりひとりがボランティア

東平 富山 茂夫



今から二十
数年前、友部
小学校を会場
に東日本福祉

教育研究会が開催された。「福祉って何」そんな感覚で授業や行事を見学したものだ。昔だつて「とんとんとんからりと隣組障子をあげれば顔なじみ」の歌のように、地域のつながりは、今以上だったように思う。

私も職を辞して七年。桜川市のさつき荘、友部の福祉センター「グリーンハウス」、内原の文化村等の施設へ音楽リハビリのボランティアとして参加している。「ああ来た来た」と大変喜ばれている。「今日は何歌う」「二人は若いがいい」「よし今日はリバイバルでいくか」、ピアノ、エレクトーンをひきながら、昔の歌を大きく印刷してや

つて、それを一緒に歌ってあげる。たまには浪曲・詩吟・民謡もいれて。長いことやっていると、いつのまにか千の風になられた人もいる。「あ！また図書館が一つ減った。」と嘆かざるを得ない。老老介護の時代到来、女性よりも男性の方が苦勞するかもしれないが頑張つて生きましよう。

「二百歳、夫婦あわせた時代みえ」。年金も大事だが、環境問題、少子高齢化は日本の運命を左右する。国民ひとりひとりが重要視しないと大変なことになる。

ボランティアをしながら、「欲しがりません勝つまでは」と皇国のため働いた高齢者を大事にしていきたい。

この日本の進路の舵とりをする宰相に一詩をおくつて、教育再生、日本のため励んでもらいたいと心の底から考えている。

●宰相 富山 茂夫作

内憂外患行路難
老老介護江湖寒
宰相弁明桃源境
無復蒼生奈不寧





善意の寄付を「あいがとう!!」(善意銀行預託)

平成19年2月1日～平成19年5月31日まで(順不同・敬称略)



物 品

ライラック	タオル50枚 ゴミ袋10個
中村 まつ	ぞうきん
栗林 敏子	使用済切手638枚
来栖 みよ	紙おむつ
磯 利子	使用済切手
船橋 慶子	使用済切手
匿名	使用済テレフォンカード
笠間市役所 笠間支所市民窓口課	使用済切手
匿名	雑巾
笠間幼稚園 PTA	使用済切手1734枚、使用済テレフォンカード22枚
川連 キヌ	使用済切手180枚
岡本興業(株)	使用済切手
細谷 尚代	タオル
関 守	書き損じ葉書
匿名	使用済切手
コーエーデンキ	使用済切手
石川印刷	使用済切手
秀芳会笠間支部	使用済切手820枚
ガールスカウト茨城県第30団	使用済切手4012枚、プルタブ600g
匿名	タオル(2件)
匿名	書き損じ葉書
樫村ふみ江	タオル、ぞうきん、使用済切手
丹羽	ハンドタオル
映像でわか町をつくる会	ビデオ「第2回クールシュペール」
柏崎 博	車いす1台
磯山 貢次	使用済切手約240枚
打越 貢	使用済切手約450枚
白田 久子	手づくりお手玉 25個
墨川 末次	プルタブ
田山 ひさ	雑巾100枚
ありんこ	切手5,883円分
茨城県立友部高等学校	プルタブ
青葉町長寿会	切手1097枚、はがき12枚、テレカ3枚
矢野下上郷ちとせ会	雑巾80枚、切手1万円分
菅谷 正子	使用済切手多数
美留町文男	大根多数
匿名	銀杏多数
久保田満子	れんこん、青菜、白菜多数、大根
いわま農産物育成会	野菜多数(2回分)
インターバック株式会社	弁当容器800個、みそ汁容器1,500個
篠原 愛子	紙パンツ1袋
郡司 大志	婦人用下着
浜田 弘子	プルタブ多数
岡村 浩	人参多数
安達 まつ	切干し大根多数
打越 やす	カラオケレーザーディスク11枚

山本 武嗣	車イス1台
東日本カラオケ振興会	使用済テレフォンカード
佐藤 総枝	タオル多数

金 銭

岩間町傷痍軍人会・同妻の会	91,612円
笠間ライオンズクラブ	100,000円
日本敬神宗祖自修団	70,000円
「リユース・フェア」募金	75,760円
菅又 正雄	12,595円
さくらガス株式会社	50,000円
財団法人日本ボールルームダンス連盟	30,000円
さくら幼稚園PTA	20,000円
友部グリーンプラザ(株)	4,123円
メモリアルホール浄土会館(2/9、5/8)	77,500円
はちみつ倶楽部(2/19、3/19)	3,000円
ありんこ	19,280円
鈴木 美代	100,000円
青葉町長寿会	27,120円
バザー夢工房	170,000円
中村 栄三	20,000円
コロナの会	16,500円
加藤 茂	10,000円
天野ステミ	10,000円
(有) 鶴屋	3,505円
手口 正男	30,000円
平山 隆久	2,000円
藤枝 昭司	10,000円
笠間エスシー協同組合	1,155円
ニューサウンズオーケストラ	30,000円
匿名11件	55,232円

あ い が とう

この度はボランティア交流会をご紹介しました。市内のたくさんの方々がボランティア活動を通して、生きがいを得つつ地域に還元されていることを、少しでもお伝えできたでしょうか。本号をご覧になった方が、ボランティアに関わっていただけたら幸いです。

の個人、又は概ね60歳以上の方で構成されているグループ等であることが必要です。

お問い合わせ先

笠間市社協 本所・友部支所
TEL.0296-77-0730
" 笠間支所
TEL.0296-73-0084
" 岩間支所
TEL.0299-45-7889

豊富な知識や経験・技術等、さまざまなノウハウを有するシニア世代の方が、経験の活用を図り、もって高齢者の生きがいづくりと社会参加を促し、地域や世代間の交流の機会を造り出すことを目的としています。

元氣シニアバンク事業
豊富な知識や経験・技術等を地域に活かしてみませんか？